

## 津軽ひろさき検定 公式テキスト 追加正誤表

H21.2/20 日現在

ページ	訂正箇所	誤	正
P11	(3)春のイベント ◎じよっぱれ弘前	◎じよっぱれ弘前	◎情報発(じよっぱ)れ弘前
P13	◎弘前公園にサクラが植えられたきっかけ 上から2行目	菊池楯衛が、1882(明治15)年、	菊池楯衛が、1872(明治5)年、
P14	◎「弘前さくらまつり」に改称 上から3行目	会期を4月22日から5月5日までに固定した	会期を4月22日から5月5日までに固定した。1983(昭和58)年には4月25日から5月6日に固定され、現在の会期(4月23日から5月5日)になったのは1994(平成6)年から。
〃	◎「弘前さくらまつり」に改称 上から4行目	1983(昭和58)年からは「弘前城ミスさくらコンテスト」が始まり、	1984(昭和59)年からは「弘前城ミスさくらコンテスト」が始まり
P16	◎サクラの特徴 上から4行目	花言葉は「勤勉」「努力」	花言葉は「純潔」「優れた美人」「精神美」「心の美」「勤勉」「努力」
P22	◎弘前市内宵宮 右表上から7段目	竜泉寺	龍泉寺
P27	◎ねぶた喧嘩【昭和時代】 上から1行目	1937(昭和12)年、日中戦争が勃発し、ねぶたまつりは	1937(昭和12)年、日中戦争が勃発し、翌年からねぶたまつりは
P35	◎リンゴ 上から1行目	8月上旬から9月上旬に収穫される「夏緑」「祝」「未希ライフ」などが早生種と呼ばれる。	8月上旬から8月中旬に収穫される「夏緑」「祝」などが極早生種、8月末から9月上旬に収穫される「未希ライフ」「つがる」「彩香」などが早生種と呼ばれる。
〃	◎リンゴ 下から2行目	9月中旬から10月中旬に収穫されるのが「津軽」「千秋」「ジョナゴールド」などの中生種。	10月上旬から下旬に収穫されるのが「津軽」「千秋」「紅玉」「スターキング・デリシャス」「世界一」「ジョナゴールド」「北斗」「早生ふじ」「陸奥」などの中生種。
P36	◎リンゴ 上から1行目	晩生種の代表は「ふじ」、	晩生種の代表は「ふじ」「玉林」「金星」などで、
P38	◎岩木山信仰 上から7行目	国の重要民族文化財	国の重要無形民俗文化財
P48	(1)地名「弘前」 上から3行目	「鷹ヶ丘」	「鷹ヶ岡」
P50	(5)市章 まんじ 上から3行目	1958(昭和33)年6月から旧弘前市の市章として	1900(明治33)年6月から旧弘前市の市章として
P57	(1)為信の津軽統一	千徳政氏を従え、翌年、	千徳政氏を従え、1576(天正4)年、
〃	◎為信ゆかり・攻撃した弘前の城・堀越城 上から2行目	1610(慶長15)年にかけて居城とした	1607(慶長12)年にかけて居城とした
P61	(2)弘前藩の基礎づくり 上から5行目	信枚は1611(慶長16)年徳川家康の養女・満天姫を正室に	信枚は1611(慶長16)年 [1612・1613 説もあり] 徳川家康の養女
P63	○女たちの関ヶ原 右側の下から10行目	津軽藩の命取りになることを危惧した	弘前藩の命取りになることを危惧した
P64	◎「満天姫」 下から7行目	津軽家を信濃(現・長野県)の川中島へ国替え	津軽家を信濃(現・長野県)の川中島 [越後(現・新潟県) 説もあり] へ国替え
〃	津軽家・弘前藩略年表	慶長2 1597 浅瀬石城主千徳政氏を攻略し、津軽統一完成	慶長2 1597 浅瀬石城主・千徳政氏を攻略し、津軽統一完成 [1596 説もあり]
〃	〃	慶長15 1610 高岡城築城・完成	慶長15 1610 高岡城築城開始、完成は翌年
〃	〃	慶長18 1613 家康養女・満天姫を正室に迎える	慶長16 1611 家康養女・満天姫を正室に迎える

P65	津軽家・弘前藩略年表	文化2 1805 蝦夷地警備の功績により7万石、同5年、10万石に高直し。分家黒石も1万石に昇格し黒石藩誕生	文化2 1805 蝦夷地警備の功績により7万石、1808(文化5)年、10万石に高直し。1809(文化6)年、分家黒石も1万石に昇格し、黒石藩誕生
P70	(2)高度経済成長化の弘前市 上から3行目	1959(昭和34)年には目屋ダムが完成し、	1960(昭和35)年には目屋ダムが完成し、
P72	第6節 旧岩木町市 上から13行目	1964(昭和39)年には、県内初の有料道路である	1965(昭和40)年には、県内初の有料道路である
〃	旧岩木町年表	1964(昭和39)年 県内初の有料道路	1964年の下に1行挿入して、1965(昭和40)年 県内初の有料道路
P74	第7節 旧相馬村史 上から2行目	807(大同2)年、坂上田村麻呂が蝦夷征伐をしたとき戦乱はこの地にも及び、相馬山の蝦夷征伐に功績のあった首長を埋葬した話が、石堂塚の伝説として伝えられている。	807(大同2)年、坂上田村麻呂が蝦夷征伐のおり、戦乱は旧・相馬村にも及び、相馬山の女首領(メノコ)の遺骸を埋葬した話が、石堂塚の伝説として伝えられている。
P74	第7節 旧相馬村史 下から8行目	1878(明治11)年になると大小区制が廃止され、戸長役場の統括になった。	1878(明治11)年になると郡制が施行され、大小区制が廃止された。各町村に戸長用所を設置し、戸長公選となる。翌年、戸長用所は戸長役場と改称された。
P76	◎弘前公園の変遷 下から4行目～5行目	1962(昭和37)年には市民会館が建てられたほか、	1964(昭和39)年には市民会館が建てられたほか、
P79	◎藤田記念庭園 上から2行目	1919(大正8)年に建設されたものである。	1921(大正10)年に建設されたものである。
P86	○「蓬莱橋」の由来 上から3行目	1813(文化10)年、9代藩主・寧親が橋架替えのとき	1838(天保9)年、10代藩主・信順が橋架替えのとき
P87	(6)坂道 一番下の行	歩道のガードレールは、	城西大橋の歩道のガードレールは、
P92	(9)岩木山神社 ◎本殿 下から2行目～3行目	本殿、奥門、瑞垣、中門 1971/ 1986/	本殿、奥門、瑞垣、 <del>中門</del> 1971/ 中門 1986/
P93	(11)石場家住宅 写真下の説明	旧石場家住宅	<del>旧</del> 石場家住宅
P97	(8)鏡ヶ丘記念館 上から1行目	1893(明治26)年、青森県尋常中学校の校舎として	1894(明治27)年、青森県尋常中学校の校舎として
〃	(10)藤田記念庭園 上から1行目	藤田謙一が1919(大正8)年に造らせた別邸	藤田謙一が1921(大正10)年に造らせた別邸。落成式は翌年。
P100	◎弘前市役所庁舎	◎弘前市役所庁舎 1958(昭和33)年	◎弘前市役所庁舎 1959(昭和34)年 *完成は前年の12月31日だが、移転・業務開始は、この年の1月26日から
P101	◎弘前市立博物館	◎弘前市立博物館 1976(昭和51)年	◎弘前市立博物館 1977(昭和52)年 *完成は前年だが、業務開始は、この年の4月から
〃	◎弘前市緑の相談所	◎弘前市緑の相談所 1980(昭和55)年	◎弘前市緑の相談所 1981(昭和56)年 *完成は前年だが、業務開始は、この年の4月から
P110	◎沢藻だしの塩辛 上から4行目	初夏の風物ともいえる。	初秋の風物ともいえる。
P113	(1)弘前と和菓子 上から8行目	記録によると1798(寛政8)年には、御役家業	記録によると1796(寛政8)年には、御役家業
P114	(1)畜産加工品 ◎シャモロック 上から1行目	「青森シャモロック」は1987(昭和62)年から開発に取り組み、	「青森シャモロック」は1987(昭和62)年から開発に取り組み、1990(平成2)年に誕生。
P116	(1)民設民営型の青果・水産卸売市場 上から8行目	水産物卸売市場は、同敷地内に1989(平成元)年に	水産物卸売市場は、同敷地内に1990(平成2)年に
P139	◎おもな品種 表1 つがる 3行目	9月中～下旬	8月下旬～9月上旬

P139	◎おもな品種 表3 世界一 2行目	10月下旬	10月中旬
〃	◎おもな品種 表5 ジョナゴールド 2行目	10月中旬～下旬	10月中旬～ <del>下旬</del>
P147	◎歴代名人 上から2行目	福士正勝(1913-1969)	福士政勝(1913-1969)
P148	(1)長勝寺の嘉元鐘	長勝寺の <sup>かげんのかね</sup> 嘉元鐘	長勝寺の <sup>かげん(の)しょう</sup> 嘉元鐘
P150	(1)学徒の礎 上から12行目	1867(慶応3)年、大政奉還が行われると、稽古館は英学寮を設け、いち早く英語教育の充実を図った。その後、弘前漢英学校と名前を改めるが、文部省の藩立学校廃止の布令を受けて、1872(明治5)年私立東奥義塾として生まれ変わる。	1867(慶応3)年、大政奉還が行われると、1869(明治2)年、稽古館は英学寮を設け、いち早く英語教育の充実を図った。1872(明治5)年、漢学寮と英学寮を合併し、弘前漢英学校と名前を改めるが、文部省の藩立学校廃止の布令を受けて、この年私立東奥義塾として生まれ変わる。
〃	(1)学徒の礎 下から8行目	1889(明治22)年には独立して弘前女学校となる。	1889(明治22)年には弘前女学校と改称して、元大工町に移転した。
〃	(1)学徒の礎 下から7行目～5行目	1884(明治17)年に開校された官立の青森県中学校(のちの尋常中学校)は、1889(明治22)年には、弘前に移転した。これが、弘前高校の前進である。	1884(明治17)年に開校した官立の青森県中学校は、1886(明治19)年に尋常中学校と改称。1889(明治22)年には、弘前市元寺町に移転した。その後、新寺町に移転し、県立第一中学校、県立弘前中学校を経て、1948(昭和23)年、現在の弘前高校に改称した。
〃	(1)学徒の礎 下から5行目～4行目	1901(明治34)年、県立第一女学校(弘前高等女学校のちの中央高校)が、	1901(明治34)年、青森県高等女学校(この年、県立第一女学校と改称)が開校し、弘前高等女学校を経て、1950(昭和25)年、現在の中央高校と改称した。
〃	(1)学徒の礎 下から3行目	県立工業学校が弘前に開校された。	県立工業学校が弘前に開校した。
P151	(3)その他の学校 上から5行目	弘前女学校は、戦後、弘前学院聖愛高等学校と改称	弘前女学校は、1948(昭和23)年、弘前学院聖愛高等学校と改称
P151	(3)その他の学校 上から7行目	弘前和洋裁縫女学校、柴田女子実業高校と発展し、戦後に学校法人柴田学園を創設。	弘前和洋裁縫女学校、柴田女子実業高校と発展し、1948(昭和23)年、柴田女子高等学校と改称した。1946(昭和21)年には県内初の女専・東北女子専門学校が開校した。
〃	(3)その他の学校 下から13行目	弘前実業高校は、1960(昭和35)年、市立商業高校と市立女子高校が合併し、県立移管によって開校した。	1960(昭和35)年、市立商業高校と市立弘前女子高校が合併し、市立弘前実業高校が開校。1969(昭和44)年、県に移管し、県立高校となった。
〃	(3)その他の学校 下から8行目	1873年(明治6)年開校の東奥義塾小学科で、生徒100人余りを教育していたが、同年に白銀小学校(朝陽)、和徳小学校、1974(明治7)年開校の亀甲小学校(時敏)開校に伴い廃止した。	1872年(明治5)年に東奥義塾に小学科が併設され、年生徒100人余りを教育していたが、公立小学校の開校に伴い翌年末には廃止した。1873(明治6)年に一番小学(翌年、白銀小に改称のちの朝陽小)、1874(明治7)年に二番小学(この年、和徳小に改称)と亀甲小学校(時敏小)が開校した。1875(明治8)年に県内初となる小学科女子部が東奥義塾に誕生し、この年白銀女小学校と年長者のための含英女小学校も開校した。
P180	弘前のスポーツ史 上から10行目 ◎撃剣家・市川宇門 下から2行目	旧藩時代から伝承され、現存する武術流派には、小野派一刀流、當田流剣術、當田流棒術、神夢想林崎流居合、本覚克己流柔術、直元流長刀、陽真流抜刀術、小堀流踏水術、塚原卜傳流	旧藩時代から伝承され、現存する武術流派には、小野派一刀流、當田流剣術、當田流棒術、神夢想林崎流居合(林崎新夢想流居合)、本覚克己流和、直元流長刀、保木陽真流抜刀術、小堀

P180		剣術などがあり、 弘前が生んだ偉大な剣術家・市川宇門	流踏水術、ト傳流剣術などがあり、 弘前が生んだ偉大な剣道家・市川宇門
P187	佐藤尚武 上か1行目	1947(昭和22)年	1946(昭和21)年
P189	本多庸一 下から2行目	東奥義塾草創記	東奥義塾草創期
P190	古都の町名	全体 町割り	全体 町割
//	古都の町名 松森町	1685(貞享2)年、参勤交代の通路となった碓ヶ関街道の	1697(元禄10)年、参勤交代の通路となった碓ヶ関街道の
P195	(2)市内循環100円バス ■ためのぶ号		※冬期変更有り を追加
P195	(3)観光用無料貸自転車 サイクルネット HIROSAKI	貸出場所	まちなか情報センターを追加
P196	(5)ゴルフ場 上から2行目	鱒ヶ沢高原ゴルフ場	ナクア白神ゴルフコース